

氏名	野 上 浩 實		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	乙 第 1117 号		
学 位 授 与 の 日 付	昭 和 5 5 年 6 月 3 0 日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項に該当)		
学 位 論 文 題 目	MLC suppressor cell に対するレバミゾールの効果		
論 文 審 査 委 員	教授 大藤 眞	教授 寺本 滋	教授 木村 郁郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

同種抗原で前感作された脾細胞はMLC (mixed lymphocyte culture) 反応を抑制するが、本論文ではこの suppressor cell に対するレバミゾール (LMS) の影響を検討した。MLC は responder に C 5 7 B L stimulator に BALB/c の脾細胞を使用した。suppressor としては、あらかじめ BALB/c の脾細胞 2×10^7 コを C 5 7 B L の foot pad へ注射して感作された 4 日目の脾細胞を用いた。さらに上記の foot pad injection の日から連日 4 日間、LMS 1.25 mg/kg 皮下注射したものを LMS 処置群とした。(C 5 7 B L の BALB/c に対する one way MLC の stimulation index (SI) は 9.58 で、これに suppressor cell を加えると SI は 1.06 と著しく抑制されるが、LMS 処置脾細胞を suppressor cell として用いると、SI は 8.16 で抑制効果は著しく減弱された。なお、LMS の感作前投与群および感作前後を通して投与した群では、上記の様な効果は認められなかった。従って LMS は suppressor cell 優位の状態で投与された場合にのみ、suppressor 機能を減弱させる効果があると思われる。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はMLC suppressor cell に対するレバミゾールの効果について実験的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかったレバミゾールの suppressor cell への影響について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。